

SmartLife

-スマートライフ-

加古川市立加古川中学校
学 校 通 信
No. 9
2023/5/29

マリンガ・ウィーク 令和5年5月29日(木)～6月12日(月)

令和5年6月12日(月)に、ブラジルのマリンガ市のみなさんが、本校の授業の様子を見学に来られます。

マリンガ市は、加古川市の姉妹都市で、今年、姉妹都市を結んでから50年を迎えることから、それを記念して、訪問団が加古川市に来られます。訪問団は、マリンガ市長をはじめ、マリンガ市議会議長、マリンガ州立総合大学学長など、市を代表する方々17名です。

みなさんの授業の様子を見に来られるので、直接、交流する機会はないかもしれませんが、はるばるブラジルから来られるので、おもてなしの気持ちで、お迎えしましょう。今日から来られる12日までをマリンガ・ウィークとします。ブラジルやマリンガのことを調べてみましょう。

もしも廊下で出会ったら、あいさつできるようにしておきましょう。ブラジルはポルトガル語です。翻訳アプリが使える人は、発音も聞いておきましょう。

おはよう	bom dia	(ボンジア)
こんにちは	Ola	(オラ)
ありがとう	obrigado	(オブリガード)

授業の準備(特にchromebook)も忘れないようにしましょう。

明日は創立記念日

5月30日(火)は、創立記念日です。

創立記念日は、通常、学校の誕生日と考えられるのですが、実は、この日は、本当の誕生日ではありません。創立した年の5月30日に開校記念式を行ったことから、この日が創立記念日となりました。

本当の誕生日は、昭和22(1947)年3月31日で、当時は兵庫県加古郡加古川町立加古川中学校と呼ばれていました。

マリンガ市のみなさんに紹介できるように、学校や加古川市の歴史について、調べてみるのも良いですね。

MARINGA CITY

マリンガ市の紹介



市章



国旗

姉妹都市提携	昭和48年7月2日
面積	約473km ²
人口	約40万人
年平均気温	21.8度
年平均降雨量	1500mm
主要な産業	コーヒー、大豆、棉花等の栽培、牧畜

マリンガ市は、ブラジル連邦共和国南部のパラナ州に属し、綿密な都市計画に基づいて建設された新興都市です。原生林をそのまま残した自然公園（インガ公園）を街の中心に配し、縦横に走る道路には、すべて街路樹が植えられ、街全体が緑にあふれています。農業を中心とした産業は、積極的な工業化政策により、近年大きく変貌を遂げようとしています。

また、日系人が多いことでも知られ、政治、経済、文化等のあらゆる分野で日系人が活躍しています。

加古川市との姉妹都市交流を記念して「加古川大通り」や日本庭園がつくられ、青年の相互派遣をはじめとする各種団体の訪問など、親密な交流が行われています。



加古川・マリンガ外国語センター



マリンガ市で開催された日本文化祭



加古川市が寄贈した日本庭園



マリンガ市内の農場



姉妹都市提携盟約書（日本語）

加古川市にあるマリンガ市ゆかりの場所



加古川駅北のマリンガ通り



ウェルネスパークにあるマリンガ市の国花イペー



姉妹都市提携盟約書（ポルトガル語）